



「エコマークアワード 2024」受賞者決定 持続可能な社会実現に貢献する 5 団体・1 商品が受賞

公益財団法人日本環境協会（所在地：東京都千代田区、理事長：新美 育文）が運営するエコマークは、2024年度のエコマークアワード受賞者を決定しました。

持続可能な社会の形成に大きく寄与する取り組みをした企業・団体が選ばれるエコマークアワードの最優秀賞は日本生活協同組合連合会が、優秀賞には 3 社 1 団体が選ばれました。ベストプロダクトには、2023・2024 年度に認定された全てのエコマーク認定商品の中から 1 点が選出されました。

表彰は、12月6日に開催するエコマークイベント内で行います。

エコマークアワード 2024 受賞団体/受賞タイトル、受賞商品/受賞企業

最優秀賞	日本生活協同組合連合会 数多くのコープ商品での幅広いエコマークの活用
優秀賞	宇陀化成工業株式会社 好循環型社会への新たな一歩
優秀賞	株式会社エフピコ トレーリサイクルを地域全体の取り組みへ
優秀賞	株式会社グンビル エコマークで変わる！！～床ワックス剥離廃液の適正処理標準化を目指して～
優秀賞	三ツ星エコクラブ エコマークで、すべての人がスーパーコンシューマーに！
ベストプロダクト	ブレスエアーメビウス [認定番号 23 104 015] 東洋紡エムシー株式会社

エコマークアワードとは

エコマークアワードは、日本環境協会が 2010 年度に創設した表彰制度で、本年 15 回目を迎えました。環境配慮商品の普及に関する優れた事例を広く公表するとともに、エコマーク商品のより一層の普及拡大を通じて、持続可能な社会の実現に寄与することを目的としています。

「最優秀賞」、「優秀賞」は、エコマークを通じて「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に大きく寄与する取り組みをした企業・団体等を表彰します。

「ベストプロダクト」は、2023 年度および 202 年度に認定されたエコマーク認定商品の中から、特に環境性能や先進性、エコフレンドリーデザインなどが優れた製品・サービスを表彰します。

【表彰について】

2024 年 12 月 6 日（金）に日比谷国際ビルカンファレンスルームで行うエコマークイベントにて、表彰セレモニーを行います。受賞者には賞状、トロフィが贈られます。





エコマークアワード 2024 選考理由

最優秀賞 受賞

日本生活協同組合連合会

数多くのコープ商品での幅広いエコマークの活用

日本生活協同組合連合会は、1990年からエコマーク認定を取得し、現在の認定商品数は850品番を超えている。エコマークを“プラスチックの環境負荷軽減対応に共通に用いることのできる認定”と位置づけ、コープ商品の「2030年目標」達成に向けたマーチャライジングに統合することで、包材のサステナブル化に強力な推進力が与えられている。こうした明確なメッセージが受け手にも伝わり、コープの包装=エコという唯一無二のブランディングにも成功していると思料する。また、バイオマスプラスチックやバイオマス由来特性を割り当てたプラスチックなどの新しいエコマーク基準にも積極的にチャレンジして認定を取得しており、サプライチェーン全体への波及効果も計り知れない。

同会は、エコマークアワード2011で当時の最高賞（金賞）を受賞している。2010年にスタートした、コープ商品に表示する独自の環境ラベルを社会的に認知された第三者認証に切り替える取り組みは、上述のとおり絶え間なく努力が続けられ、その進展と深化が著しい。このため、エコマークアワードでは初となる2度目の最高賞受賞の栄誉に輝いた。

優秀賞 受賞

宇陀化成工業株式会社

好循環型社会への新たな一歩

宇陀化成工業株式会社は、再生材料を用いた環境にやさしいポリエチレンフィルムの製造・販売を行っている。ごみ袋でのエコマーク認定を業界に先駆けて取得しており、2002年からの長きにわたり、信頼性を示す手段としてエコマークを活用している。再生材料を部分的に使用するのではなく、原則として再生材料使用100%にこだわったモノづくりを行う方針をとっている。またそれを達成するために、再生原料の仕入れルートを複数確保し、安定した調達を行っていることもこの方針を堅持するポイントだという。近年は使用されたストレッチフィルムを回収・再生するポストコンシューマー材料の使用量を増やしており、資源循環とCO₂排出量削減によるカーボンニュートラル社会の実現に向けて貢献をしている。使用済み製品の回収にあたっては、フィルム製品を使用する企業の協力・連携が不可欠であり、ステークホルダーと共に推進する資源活用に期待したい。

優秀賞 受賞

株式会社エフピコ

トレーリサイクルを地域全体の取り組みへ

株式会社エフピコは、エコマークアワード2010金賞に続き、2度目の受賞となる優秀賞に輝いた。同社は、1991年に食品トレーでエコマーク認定を取得。店頭で自主回収する食品トレーをリサイクルして再びトレーをつくるトレーtoトレーは、今ではエコマーク表示を目印としてトレーを集めて持参するという、消費者にとって身近な環境活動として定着している。

回収拠点となる「お店」に置かれている回収BOXでは、ストアtoストアの循環型リサイクルの取り組みがトレーを持参してくれる人にしか伝わらないとの問題意識から、売場内でトレーリサイクルのプロモーションを行うことを取引先に提案。その結果、売場内での情報発信に協力する店舗は、2021年開始当初の3店舗から、3年余りで3,842店舗にも達したという。この実績は、トレーを店舗へ持参する消費者行動が促進されたことを如実に示しており、前回受賞後も取り組みの拡大・深化が続いている。

サーキュラーエコノミーという概念すらなかった1990年にトレーリサイクルを開始し、製品の販売先であるお店を拠点として消費行動を変えた仕組みづくりは先駆的といえる。今後も柔軟な発想と先見性で、新たなリサイクル市場の開拓に期待したい。



優秀賞 受賞

株式会社グンビル

エコマークで変わる！！～床ワックス剥離廃液の適正処理標準化を目指して～

株式会社グンビルは、群馬県を拠点とする清掃サービス事業者である。同分野にて最初にエコマーク認定を取得し、エコマークを活用して環境配慮型の清掃サービスであることを発信している。

同社は、清掃管理業務において発生する床ワックスの剥離廃液が適正に処理されない場合、環境への負荷が大きくなる点に着目。床ワックスの剥離廃液処理で生じた固形物を燃料としてリサイクルする技術を開発し、環境負荷の低減に大きく貢献している。また、その取り組みを自社で完結させず、同業者や関連事業者とともに廃液を適正に処理する会を設立し、環境に配慮した清掃事業を広める活動も積極的に行っている点が高く評価された。清掃業界における剥離廃液処理をリードする同社は、廃液処理の高い技術について分かりやすく伝える広報活動も積極的に行っており、業界全体の取り組みの底上げにつながることを期待できる。長年の研究とその成果を通して、持続可能な地域社会の実現に寄与している。

優秀賞 受賞

三ツ星エコクラブ

エコマークで、すべての人がスーパーコンシューマーに！

三ツ星エコクラブは、新潟県魚沼市を拠点に環境活動を行っている。地域でのごみ拾いや家庭での節水・節電に端を発した取り組みは、消費活動にも発展。グリーンコンシューマーとしての高い意識のもと、環境に配慮した商品の選択・購入を実践しており、さらにエコマークをはじめとした環境ラベルについて調べた内容やこれまでの活動の様子を環境フェアで発表し、壁新聞で発信している。活動するだけでなく発信することにも力を入れている点が素晴らしい。

クラブが取り組んで発信する内容は、誰もが日常生活で取り組むことができるものであり、地域での環境への関心・意識を高める一助になっていることは間違いない。マークの意味を知るという学びだけでなく、楽しみながら継続することを心がけている点も大事な視点である。

長年の取り組みが、自治体との協働によりさらに地域に溶け込み、地域住民の環境意識の向上に役立っている。家族から、地域、全国、そして世界へと活動の輪がますます広がり、今後も継続されることに期待する。

ベストプロダクト 受賞

ブレスエアーメビウス [認定番号:23 104 015]

東洋紡エムシー株式会社

本商品は、三次元網状繊維構造体として知られる寝具・クッション等の詰め物である。ブレスエアーとしての1996年の上市以来、一般用・業務用寝具、新幹線などの鉄道車両や船舶の座席シート、オートバイやベビーカーなど幅広い用途で使用されてきた。このたび、市場から使用済み製品を回収・リサイクルし、製品に25%配合した「ブレスエアーメビウス」として2023年10月にエコマーク認定を取得した。

同一工場内での廃材を有効利用する取り組みは以前より行われていたが、さらに自社の三次元網状繊維構造体を使用する製品を回収し原料として使用する水平リサイクルを実現した点が高く評価された。幅広く使用されている既存製品の機能性・快適性をそのままに、リサイクルが難しい繊維での水平リサイクルを成し遂げた技術力の高さと同社の信念が表れた製品である。シートやマットなど使用用途が広い本製品は多くの商品に展開されるものであり、サーキュラーエコノミーにつながるものとして大いに期待できると高く評価された。



【エコマークアワード 2024 選考方法】

エコマークアワード（最優秀賞・優秀賞）

202 年 5 月 20 日～7 月 19 日の応募期間中、一般からの応募（自薦・他薦は不問）、またはエコマークアワード選考委員会（以下、選考委員会）による推薦があった団体の中から、選考委員会による一次審査（書類審査）および本審査（オンラインプレゼンテーション）を経て、受賞団体を決定。

ベストプロダクト

2023 年度および 202 年度に認定を取得したすべてのエコマーク商品から、評価ポイントおよび認定基準への適合状況等を勘案し、選考委員会で評価を行い選考。

エコマークについて

国際標準化機構の規格 ISO14024「タイプ I 環境ラベル制度」に基づく認定制度です。

1989 年に創設され、公益財団法人日本環境協会が運営しています。環境への負荷が少ないなど、環境保全に役立つと認められる製品やサービスにつけられ、消費者が暮らしと環境の関係を考え、環境保全の面でより良い商品を選びやすくすることを目的としています。

2024 年 11 月 1 日時点で、認定商品数は 53,039 点、認定取得企業は 1,478 社です。

「エコマーク」は、公益財団法人日本環境協会の登録商標です。

エコマーク事務局ウェブサイト：<https://www.ecomark.jp/>

<本件に関するお問い合わせ>

公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局 事業推進課（広報担当）

E-mail: kouhou@ecomark.jp Tel: 03-5829-6286

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMM ビル 5F

URL: <https://www.ecomark.jp/award/2024/>



エコマークアワード 2024
ウェブページ

